

# Corporate Profile



NEW ROTARY CO.,LTD

株式会社 **ニューロータリー**



## ご挨拶

新しいモノづくりに積極的にチャレンジする姿勢で、  
高品質の印刷からニッチな液剤塗工まで、多様なニーズにお応えします。

株式会社ニューロータリーはグラビア印刷・フィルムコーティングを中核事業とし、フィルム・紙・金属箔など各種基材の加工を手掛ける会社です。

創業以来、半世紀以上にわたり培ってきたグラビア印刷の技術・ノウハウを土台に、特殊液剤を塗工して機能性フィルムを製造するコーティングにも積極的に取り組んでおります。

印刷技術の応用で実現できるモノづくりの幅は、近年ますます広がっております。弊社でも印刷塗工技術や液剤開発ノウハウを駆使して、電子部品や半導体の部材、農業関連の資材、防犯対策用品など多様な分野の製品作りをお手伝いしております。

私たちを取り巻く環境は、刻々と変化しています。これまでにない量と質の情報が行き交い、様々な技術が加速度的に進歩し、ものごとの価値が多様化していく、転換期にあると言われております。市場動向が激しく変化する中ではありますが、今まで培ってきた既存の技術やノウハウに新しい知識や素材を組み合わせ、これまで以上に多様なニーズにお応えできるよう、これからもより一層、精力的に取り組んでまいります。

今後とも一層のご協力とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 藤村 洋之

## 会社概要

|          |                                                                                                                                                                            |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商号       | 株式会社ニューロータリー                                                                                                                                                               |
| 本社       | 大阪府門真市江端町8番8号                                                                                                                                                              |
| 電話       | 072-881-3265 (代) 072-885-5521 (営業代表)                                                                                                                                       |
| 業種       | グラビア多色輪転印刷・コーティング・ドライラミネート・焼付塗工                                                                                                                                            |
| 事業内容     | 1. 紙・セロファン及びプラスチックフィルム、金属箔の印刷加工及びコーティング<br>ドライラミネート・焼付塗工<br>2. 化学薬品、工業薬品及び農業薬品の加工及び製造販売<br>3. 上記に付帯する一切の業務                                                                 |
| 資本金      | 3,500万円                                                                                                                                                                    |
| 設立       | 昭和37年4月13日                                                                                                                                                                 |
| 事業開始     | 昭和39年3月21日 (門真市)                                                                                                                                                           |
| 事業年度     | 3月21日より翌年3月20日 (年1回決算)                                                                                                                                                     |
| 役員       | 取締役会長 藤村 俊之<br>代表取締役社長 藤村 洋之<br>常務取締役 内田 真一<br>監査役 澤田 睦久                                                                                                                   |
| 従業員      | 54名 (2021年3月現在)                                                                                                                                                            |
| 取引銀行     | 京都銀行 寝屋川支店<br>みずほ銀行 守口支店<br>南都銀行 大東支店<br>日本政策金融公庫 大阪支店                                                                                                                     |
| 工場所在地・電話 | <b>本社工場</b><br>大阪府門真市江端町8-8<br>電話 072-881-3265 (代表) 072-885-5521 [営業]<br>FAX 072-884-3288 [営業]<br><b>奈良工場</b><br>奈良県吉野郡東吉野村平野1152-1<br>電話 0746-44-0510<br>FAX 0746-44-0511 |
| E-Mail   | info@newrotary.co.jp                                                                                                                                                       |
| URL      | https://www.newrotary.co.jp                                                                                                                                                |

## 事業沿革

|          |                                                                       |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1935年01月 | 京都市南区にてロータリー印刷社創立                                                     |
| 1950年11月 | 大阪市城東区にて個人経営をもってロータリー印刷工場を設立<br>藤村貞之が代表取締役役に就任                        |
| 1953年07月 | 合資会社に組織変更                                                             |
| 1959年04月 | 福岡市東領町に九州工場新設                                                         |
| 1962年04月 | セロファン印刷部門を分離して株式会社ニューロータリーを設立                                         |
| 1963年02月 | 本社を現在地に移転                                                             |
| 1964年03月 | 本社工場を現在地に移転 操業開始                                                      |
| 1965年04月 | 福岡市花野町に九州工場移転                                                         |
| 1973年02月 | 福岡市早見団地 (産炭地域振興事業団より造成土地譲受) に九州工場 (敷地 9,754 m <sup>2</sup> ) を新設、操業開始 |
| 1979年05月 | 藤村俊之が代表取締役に就任<br>7色グラビア印刷機を導入                                         |
| 1982年05月 | 九州工場閉鎖 (昭和62年10月売却) 本社工場に生産を集中                                        |
| 1984年05月 | 6色グラビア印刷機を導入                                                          |
| 1987年12月 | 8色グラビア印刷機を導入                                                          |
| 1989年05月 | グラビアコーティング機、ドライラミネーター導入                                               |
| 1993年07月 | 仕上部門に巻き替え検品機を導入                                                       |
| 1994年06月 | 本社印刷工場新設、7色グラビア印刷機導入                                                  |
| 1996年08月 | 仕上部門に巻き替え検品機を導入                                                       |
| 1997年03月 | 社内ネットワークインフラを構築                                                       |
| 2003年09月 | 仕上部門に大型広幅スリッター機導入                                                     |
| 2004年08月 | 8色グラビア印刷機にインライン検査装置を追加                                                |
| 2004年11月 | 仕上部門に巻き替え検品機を導入                                                       |
| 2005年05月 | 品質保証国際規格 ISO9001 認証取得                                                 |
| 2007年01月 | 仕上部門に巻き替え検品機を導入                                                       |
| 2009年09月 | 7色グラビア印刷機のインライン検査装置を更新                                                |
| 2011年03月 | 7色グラビア印刷機、8色グラビア印刷機のカラーコントローラを更新                                      |
| 2012年07月 | 仕上部門に製袋機を導入                                                           |
| 2013年10月 | 仕上部門に巻き替え検品機を導入                                                       |
| 2015年04月 | 仕上部門に製袋機を導入                                                           |
| 2015年12月 | 奈良県吉野郡東吉野村に奈良工場新設<br>ドライラミネーター機2台 (ドライラミ、焼付コーティング)                    |
| 2016年01月 | グラビアコーティング機、ドライラミネーター機にカラーコントローラ新設                                    |
| 2017年11月 | 奈良工場に巻き替え両面検品機を導入                                                     |
| 2020年06月 | 藤村洋之が代表取締役社長に就任<br>現在に至る                                              |

# ニューロータリーが選ばれるわけ



## 徹底した品質管理

弊社では、徹底した品質管理体制を導入し、医薬品や化粧品の包材など、品質に対する要求が極めて高い印刷物や、機能性コーティングフィルムを多数生産しています。

検査・検品に必要な機器を取り揃え、全数検品や二重検品など厳しい品質管理を実現しています。さらに、現状に留まることなく日々改善を重ねて、品質向上に努めています。



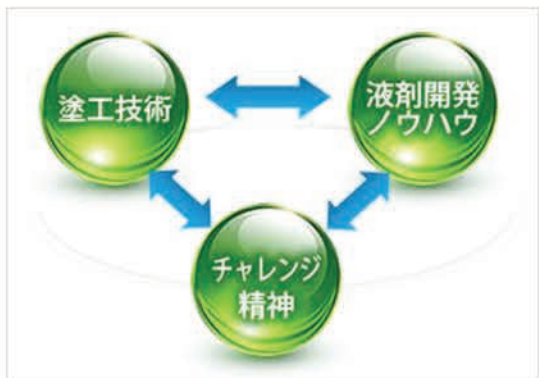
## 様々な課題を解決する試作・開発

弊社には、年間100件を超える特殊案件のご依頼があります。これまでも数々の難題をお客様からご相談いただき、弊社の持つ技術・ノウハウを最大限に活用し、課題の解決に努めてまいりました。

弊社のグラビア印刷・コーティング・ラミネートの加工技術と知見を活かし、各種フィルム・紙・金属箔をはじめ、一般的なグラビア塗工の技術では対応困難な特殊基材に至るまで様々な基材への液剤塗工に関する課題を解決してまいりました。機能要件に応じて、機械設備の開発を含めた対応実績がございます。

開発途中の液剤や塗工出来るかどうか分からない基材など、不確定要素が多い案件にも積極的に取り組みます。また、開発途中の液剤の持ち込みテストや、機能要件に合わせた塗工液の開発も承ります。

培ってきた技術・ノウハウと、新しいモノづくりに積極的に取り組むチャレンジ精神で、難しい特殊案件にも粘り強く取り組み、時にはお客様と二人三脚で協力体制を組み、試作・開発を繰り返します。塗工に関するお困りごとがありましたら、是非一度ご相談ください。



## 一貫生産・小ロット対応

弊社は、印刷の加工だけではなく、ご要望に合わせてスリット・製袋などの工程も含めた一貫生産を承っております。

印刷・ラミネート・スリット・製袋までの複数の工程を、社内で一貫生産することにより、品質の維持だけでなく、短納期やコストダウンにも対応が可能となります。

また、一貫生産の強みを活かして、小ロット対応に特化した包装資材フィルムも生産しております。



一般的な工程とは異なる特殊な加工が必要な場合などは、社外のパートナー会社様との協力体制で生産体制をアレンジします。加工内容やロットに応じた生産工程を組み、柔軟に対応致します。



# グラビア印刷

医薬品包材・化粧品包材をはじめ、高品質な印刷に対応します。

徹底した品質管理体制と専門スタッフによる調色管理で、医薬品・化粧品の包装資材など品質要求の高い印刷に対応できます。

各種フィルムや紙など、様々な基材への印刷実績があります。

## ニューロータリーのグラビア印刷の特徴

### 表裏の色数組み合わせパターン

| 2色  | 3色  | 4色  | 5色  | 6色  | 7色  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1×1 | 1×2 | 1×3 | 1×4 | 1×5 | 1×6 |
|     | 2×1 | 2×2 | 2×3 | 2×4 | 2×5 |
|     |     | 3×1 | 3×2 | 3×3 | 3×4 |
|     |     |     | 4×1 | 4×2 | 4×3 |
|     |     |     |     | 5×1 | 5×2 |
|     |     |     |     |     | 6×1 |

表の色数 × 裏の色数

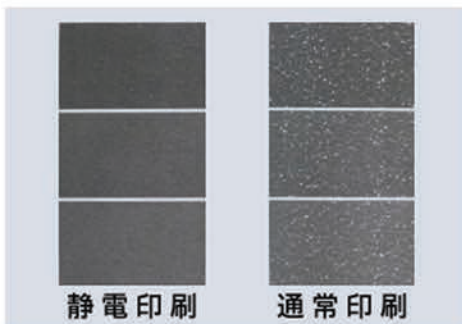
### 両面印刷が可能

表裏各1色ずつの印刷から表裏最大7色までの両面印刷に対応できます。両面印刷の色数は可変式で上記のような設定が可能で、表・裏両面で前後左右のピッチ合わせが可能です。また、紙やアルミ箔など透明性がない基材でのピッチ合わせも可能です。



### 専門スタッフ「色相判定員」による調色

社内に「色相判定員」の資格を設け、資格を持つスペシャリストが印刷物の色相を管理することで、色のトラブルを防ぎます。また、カラーコンピュータマッチングシステム（CCM）で、計数化した調色管理も実施しています。



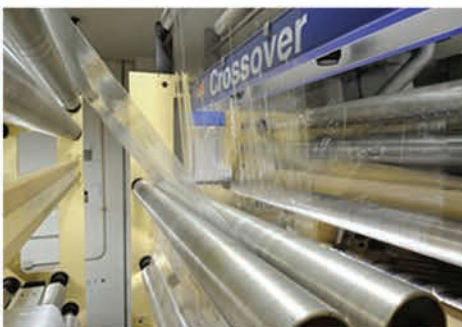
### 静電印刷ユニットを設置

インキの転移性を高める「静電印刷」が可能です。静電印刷ユニットを利用することで、紙などの表面が粗い原紙にも、カスレやヌケが発生することなく鮮明に印刷できます。



### 版設定ノウハウ

印刷物の用途やデザインに合わせて、最適な版設定を提案致します。適切な条件を設定し製版することで、微細な文字や色の再現性など、お客様のご要望に合う印刷を実現します。



### 高精度の二重検品

医薬品などの極めて高い精度が求められる製品には、印刷工程中のインライン検査装置と、アウトライン検査装置による「二重検品」を実施します。印刷物の品質をさらに高いレベルで安定させることが可能です。



### 全数検品を標準化

弊社では、印刷・コーティング製品の精度を高め、より良い製品をお届けできるよう、全数検品体制を導入しています。基本的にすべての印刷・コーティング加工物に対して、検査装置による検品工程での検査を行い、出荷する製品の品質安定化を図っています。また、表・裏の両面同時検査が可能な装置もございます。

## グラビア印刷 スペック



- 基材の厚み : 3.5μ ~ 750μ (使用する印刷機によって変動)
- 基材の幅 : 200mm ~ 1450mm (条件により変更あり)
- 原紙巻き直径 : 最大 1000mm
- 版円周 : 最大 1135mm
- 最大色数 : 8色
- 水性インキ対応可



# コーティング

## 独自の塗工技術で機能性フィルムを製造

グラビア印刷の技術を応用し、各種フィルム・紙へのコーティングに多数の実績があります。特殊なフィルムや金属箔に至るまで多様な基材への塗工が可能です。また、塗工液剤についても既存の液剤だけでなく、弊社での液剤開発も可能です。

## ニューロータリーのコーティングの特徴



### 2ヘッド搭載のコーティング専用機で厚塗りや2種類の液剤の同時コーティングが可能

2つの塗工ユニットを装備している2ヘッドコーターを配置しています。

1工程で2度塗りすることによる厚塗りや、種類の異なる2種類の液剤を塗工することができます。



### 両面コーティング可能

反転装置を使用することにより、1工程で両面のコーティングが可能です。工程短縮により高いコストパフォーマンスを実現できます。



### 15mの乾燥炉

15mの長い乾燥炉を備えていますので、高温への耐性のない基材にも低温乾燥による塗工が可能です。

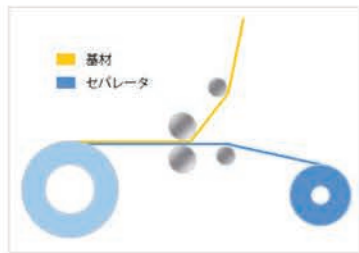
また、乾燥温度を150℃まで上げることができるユニットもあるため、高温での乾燥にも対応可能です。

※150℃対応の乾燥炉は3m



### 特殊塗工液専用機

通常とは異なる特殊な塗工液に対応するため、必要に応じて専用機での生産を行うことが可能です。



### セパレーターの挟み込みが可能

塗工液の種類に応じて、コーティングと同時にセパレーターを挟み込んで加工することができます。コーティング面を傷、摩擦等から守り、機能性や品質を維持することができます。



### 塗工液の開発

塗工液開発の専任スタッフがおりますので、お客様のご要望に応じて、特殊塗工液、特殊インキなど、用途に応じた様々な液剤の開発が可能です。

※液剤開発時には守秘義務に対応いたします。



### 品質管理体制

塗布量や膜厚の測定など、適正な塗工状態を保つための品質管理を行っています。機能性塗材の性能検査など、製品に応じた品質管理項目を設定し、安定した品質を実現します。



### エージングルーム・クーリングルームを完備

加工後の沈着を確実にするため、(塗工後の状態を安定させるため)専用のエージングルーム・クーリングルームを完備しています。製品ごとに定めた適切な時間のエージング・クーリングを経て次の工程に送ることで、品質の安定化を図っております。

## コーティング スペック



- 基材の厚み : 3.5μ ~ 750μ
- 基材の幅 : 200mm ~ 1450mm (条件により変更あり)
- 原紙巻き直径 : 最大 1000mm
- 版円周 : 最大 1135mm
- 同時塗工数 : 1工程で8ヘッドでの塗工まで対応 (グラビア印刷兼用機を使用の場合)
- 反転装置による両面塗工が可能
- 乾燥温度 150℃まで対応可能 (150℃対応の乾燥炉は 3m)

# コーティング例

## ● 導電コート・帯電防止コート

導電性のある液剤をコーティングすることで、電気を通すフィルムを製造します。表面抵抗値は（ $10^2 \sim 10^{12} \Omega/\square$ ）までの設定が可能で、導電性レベルによって高導電～帯電防止（静電気防止）に分けられ、使用目的によって使い分けます。導電コートには透明タイプ、不透明タイプがありますので、用途に合わせて液剤を選定します。

主な用途：電子部品、電子治療器、静電気防止など

## ● 紫外線カットコート

紫外線を通さない性質を持ち、変色や劣化を抑える目的で使用されます。透明性のあるコーティング剤を使用することで、包装材の中身が見える視認性を確保しながら、紫外線から保護したい場合にも有効です。

主な用途：輸液バッグ、医薬品包材、食品、染色物の包装材など

## ● 防曇コート

曇り止めのコーティングです。結露など、包装資材が曇って内容物が見えなくなるのを防ぎます。

主な用途：熱湯を注ぐカップの蓋、野菜の袋など

## ● ハードコート

基材の表面を、傷つきや摩擦などの刺激から守るためのコーティングです。どのような耐性が必要か、目的に応じてコーティング剤を選定します。

主な用途：冷蔵庫表面、パソコン表面、タッチパネル面など

## ● 防汚コート

基材の表面に汚れが付きにくくする、また付いても簡単に取れるようにするためのコーティングです。油性マジック、油污れなどが付着しても、簡単にふき取ることが出来ます。

主な用途：キッチン回り、いたずら防止など

## ● 赤外線カット・熱線カット

熱領域である、赤外線をカットする為のコートです。赤外線による温度変化から、内容物や室内を守るために使用されます。

主な用途：窓貼り用フィルムなど

## ● 転写印刷

転写印刷は、立体物に印刷を施すための技術です。フィルムに図柄を印刷し、熱転写により被着体に転写させることで立体物に印刷を施します。湾曲している、凹凸があるなど、平らではない形状の立体物に印刷するときにも有効です。

主な用途：パソコン、自動車部品、電気器具、文具、建材など

## ● 感光性レジストコート

写真法を用いた配線形成を行う為の感光性材料のコーティングです。感光性材料にて保護された以外の部分をエッチング（腐食）にて回路などを形成します。

主な用途：ICチップ、電子回路など

## ● 離型コート

粘着剤を簡単に剥がせるようにするためのコーティングです。一般的にセパレーターと呼ばれる物です。部分的な離型コートも承っておりますので、剥離部分と粘着部分を同居させたい場合に有効です。

主な用途：粘着テープの非粘着面、粘着物の包装資材など

## ● マットコート

マット調を再現するコーティングです。意匠性を高めたり、透過性をなくしたりするのに有効です。塗工後の表面状態がほかのインキと異なるため、えんぴつなどで文字が書けます。

主な用途：装飾品、フィルム封筒など

## ● セキュリティーテープ

テープをはがすと、剥がしたことが分かるようになっております。偽造防止や開封確認等の用途で使用されます。

主な用途：開封確認が必要な封筒など

## ● インジケーター

ガスや熱による処理を施すと、色の変化が起こる液剤を印刷します。滅菌処理が必要な部材（主に医療関連）の包装材に使用され、ガス、熱による滅菌処理が行われたかどうかを、色により判別しやすくするための加工です。

主な用途：医療分野全般

## ● 易接着コート

各種基材の表面に易接着コートを行うことで、表面状態を改善し、印刷インキなどの液剤密着を強めるコーティングです。基材と相性の悪い液剤をコーティングする時に、間を取り持つ役割をします。

主な用途：工業部材、電子部材など

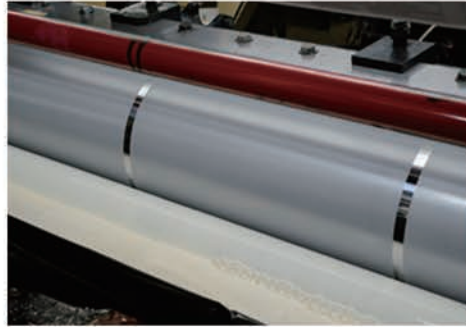


# ドライラミネート・粘着加工

## 特殊なドライラミネートや粘着加工に対応可能

特殊粘着剤使用の粘着加工やドット粘着加工、特殊接着剤を使用したラミネートや、着色ラミネートなど、通常のラミネート加工業者や粘着加工業者ではあまり対応していない加工にも積極的に取り組んでいます。小ロット、広幅、厚物のラミネートにも対応致します。

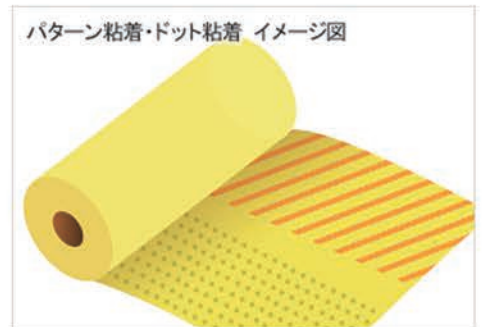
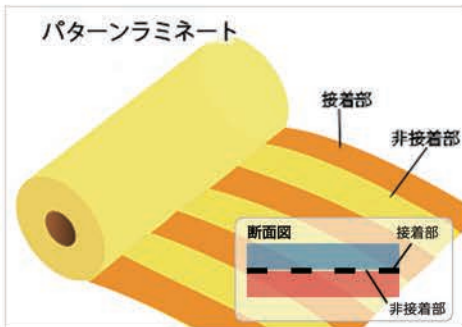
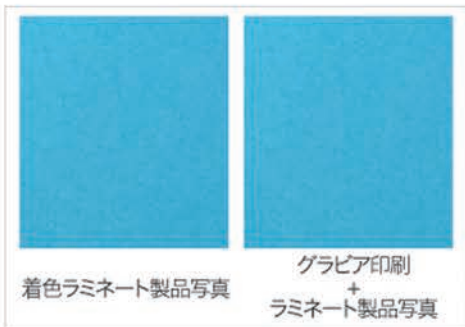
## ニューロータリーのドライラミネート・粘着加工の特徴



**特殊な接着剤でのラミネートに対応可能**  
ラミネート時の接着剤に機能性を付加するため、特殊な液剤を試作・開発してテストすることも可能です。通常のドライラミネートでは行わない実験的なご要望にも積極的に対応致します。

**1工程で印刷とラミネートを同時に加工**  
2ヘッドコーター & ラミネーターを使用することで、印刷とラミネートを1工程で行うことができます。通常は2工程に分けて行う作業を1工程で行うことで、納期短縮やコストダウンなど様々なご要望に対応できます。

**エージングルーム・クーリングルームを完備**  
加工後の沈着を確実にするため、（塗工後の状態を安定させるため）専用のエージングルーム・クーリングルームを完備しています。製品ごとに定めた適切な時間のエージング・クーリングを経て次の工程に送ることで、品質の安定化を図っております。



### 着色ラミネート

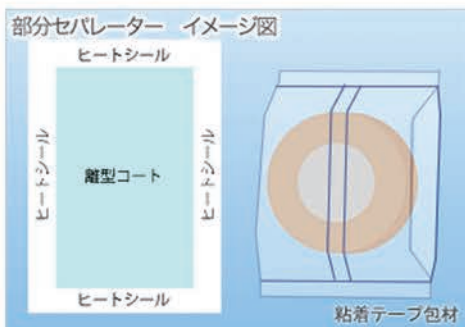
接着剤に着色することで、ラミネート部分が視認しやすくなる着色ラミネートが可能です。1工程で着色とラミネートを行うことで時間短縮・コストダウンのご要望に対応致します。

### パターンラミネート

一般的なラミネートだと全面張り合わせになりますが、接着させたい部分のみ接着剤を塗布して貼り合わせる、パターンラミネート加工も可能です。  
※パターンは版を変えることにより、多彩な形状でも可能です。

### パターン粘着・ドット粘着

通常の粘着加工は全面に粘着剤を塗工しますが、弊社では粘着剤を部分的に塗工するパターン粘着・ドット粘着加工が可能です。粘着剤を塗工する部分はデザインできますので、用途に応じて塗工部分の形状を変えることができます。



### 部分セパレーター

粘着加工時に挟み込むセパレーターは、通常は全面に剥離処理が施されており、セパレーターをすべてはがす前提での加工となっております。弊社の部分セパレーターは、部分的に剥離する加工を施したセパレーターです。剥離部と接着部を意図的に作り、セパレーターをはがさずに特殊用途の包装資材などに使用します。

## ドライラミネート・粘着加工 スペック



- 基材の厚み : 3.5 $\mu$  ~ 750 $\mu$
- 基材の幅 : 360mm ~ 1450mm
- 原紙巻き直径 : 最大 800mm
- 2ヘッドコーター & ラミネーター
- 乾燥温度 150℃まで対応可能  
(150℃対応の乾燥炉は 3m)

# 試作・開発

## ニューロータリーの試作・開発の特徴



### 本生産とのギャップがない 本機試作を実施

弊社の試作は、試作用の簡易印刷機ではなく、生産設備の印刷機やコーターを使用しての本機試作を行います。実際の生産時の条件を探りながらの試作が可能のため、本生産にスムーズに移行することが可能です。



**塗工液や基材の持ち込みが可能**  
一般的な塗工液や基材だけでなく、オリジナルの特殊な塗工液や基材を、弊社工場に持ち込みいただき試作することが可能です。  
※塗工液や基材の特性により試作できない場合がありますので、事前に試作条件の確認が必要です。



### 試作時に簡易測定・性能評価を 実施可能

弊社の品質管理スタッフと試験設備による簡易測定・性能評価をタイムラグなく実施可能です。また、測定機器のお持ち込みにも対応致します。



### 塗工液の開発

塗工液開発の専門スタッフによる塗工液の開発も承ります。お客様のご要望に応じて、特殊塗工液やインキなど、弊社加工設備に適した仕様で、用途に応じた液剤を開発いたします。

## 試作・開発の流れ



### STEP-1 お問い合わせ

お電話にてご相談内容についてお問い合わせください。  
弊社担当よりお電話にてご連絡差し上げます。

お電話 072-885-5521



### STEP-2 お打ち合わせ

製品仕様や利用環境など、製品に求められる要件をお聞きし、加工内容を明確にいたします。  
使用する基材や液剤、必要な性能試験についてもここで確認します。



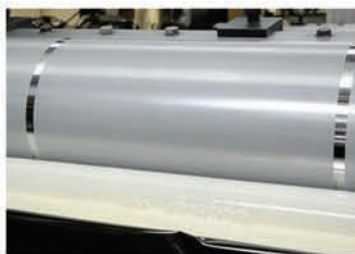
### STEP-3 基材および液剤の手配

弊社にて基材および液剤を手配するだけでなく、開発中の基材や液剤を持ち込みいただくことも可能です。  
まずはテストサンプル作成用に、少量を準備します。



### STEP-4 テストサンプル作成と 性能試験

本機試作に向けて、まずはテストサンプルを作成します。  
その後、性能試験を行い、サンプル品が要件を満たしているかチェックします。要件をクリアできれば本機試験に進みます。もし、機能要件を満たせない場合は、条件を変えて機能要件をクリアできるまで、テストサンプル作成を繰り返します。



### STEP-5 本機試作と性能試験

印刷機・コーターなどの本機を使用して、少量の試作を行います。  
試作後は様々な検査機器を使用して試作品を試験し、ご希望の条件をクリアできるまで調整を繰り返します。  
この段階で量産時の加工条件がほぼ確定いたします。



### STEP-6 実生産

本機試作にて確定した加工条件に基づき、スムーズに量産化に移行できます。一定の品質を保つため、常にサンプリングを行い、品質を安定化させます。

※製品の仕様により、アウトライン検品やエージング・クーリングなど、工程を追加することも可能です。



# 品質管理

## 徹底した品質管理体制で品質を安定化

弊社では、医薬品・化粧品包材をはじめ、品質要求の高い印刷物を多数取り扱うため、品質管理・検品の体制を整え、常に高品質の製品をお届けできるよう取り組んでおります。また、各種検査機器を取り揃え、コーティングや試作製品の簡易な性能検査も行っています。

### 品質管理体制



#### 全数検品

弊社では、印刷・コーティング製品の精度を高め、より良い製品をお届けできるよう、全数検品体制を導入しています。基本的にすべての印刷・コーティング加工物に対して、検査装置による検品工程での検査を行い、出荷する製品の品質安定化を図っています。また、表・裏の両面同時検査が可能な検査装置もございます。



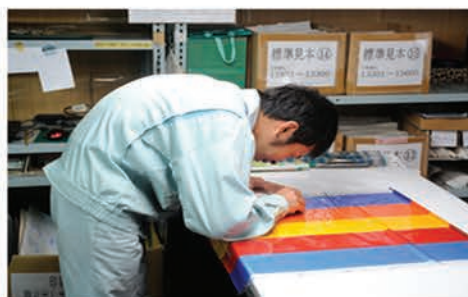
#### 二重検品方式

非常に高い精度・品質が求められる印刷・コーティング製品については、印刷やコーティングの工程でのインライン検査装置（印刷機に接続した検査装置）と、アウトライン検査装置による検品工程（アウトライン検査）の二重検品を行い、出荷する製品の品質安定化を図っています。



#### 異物・不良の除去

アウトライン検品では、検査装置による不良箇所や異物の発見だけでなく、検査装置だけでは発見できない埃や異物を除去する体制も徹底しています。原反に混入している異物や、印刷・包装時に付着した異物を、検査装置に装着した除埃装置にて自動で取り除き製品を出荷しています。また、自動で取り除けない異物や印刷上の不良は、オペレーターがその都度確認し、手作業で取り除いています。



#### 品質管理スタッフ

弊社では、印刷・コーティング製品の品質を高いレベルで維持するため、品質管理の専門スタッフを配置しています。社内に「品質検査員」の資格を設け、資格認定者が印刷物の1コイルごとのスタート前検査、ピッチ管理や、コーティングの膜厚や塗布量の管理、各種検査機器を使用した機能性コーティングの性能試験などを行い、弊社の加工品の品質を管理しています。



#### 工程スタート前の品質確認

各種印刷、コーティングは、塗工のスタート前に、品質管理課の判定員によるチェックを受け、事前のチェック項目をクリアしてから加工をスタートすることを徹底しています。



#### 専門スタッフによる調色・色相管理

社内に「色相判定員」の資格を設け、資格を持つスペシャリストが印刷物の色相を管理することで、色のトラブルを未然に防止します。カラーコンピュータマッチングシステム（CCM）で、色の管理を数値化して実施することも可能です。



#### 各製造エリアにはエアシャワーを設置

エリアごとに異物の侵入を防ぐエアシャワーを設置しています。作業だけでなく、すべてのエリア立ち入り者は必ずエアシャワーでの防塵工程を経ないとエリア内に入れないシステムになっています。

# 奈良工場

## ドライラミネート・コーティング事業に特化した奈良工場

本社工場の各種設備に加え、さらなる生産体制の充実を目指して、奈良工場を開設いたしました。ドライラミネート・コーティング加工に特化した工場で、試作・開発から生産までトータルに対応させていただきます。

### ドライラミネート・コーティング設備スペック



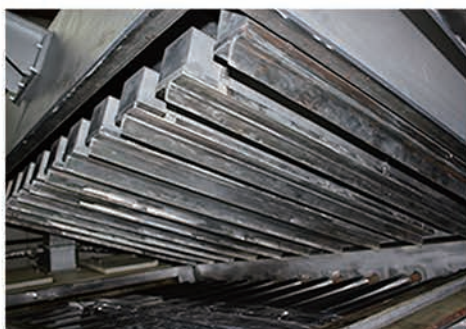
- 基材の厚み :  $9\mu \sim 400\mu$
- 基材の幅 : 200mm  $\sim$  1350mm (条件により変更あり)
- 原紙巻き直径 : 最大 1000mm
- 版円周 : 最大 785mm
- 乾燥炉 : フローティング方式、またはロールサポート方式
- 乾燥温度 : 300℃まで対応可能
- コロナ処理機付
- バックアップロール付

### 奈良工場の特徴



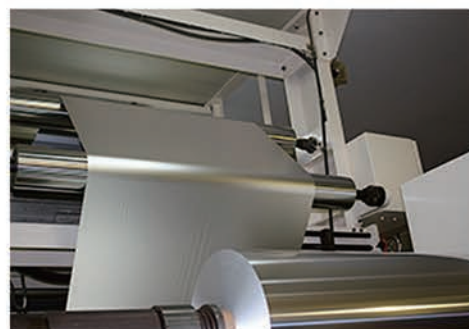
#### エージング設備も充実

エージングルーム（5室完備）の温度を変更する事が可能な為、製品の要件に合わせた温度でエージングが可能です。



#### 300℃の乾燥炉

長さ13.3m、300℃までの温度調節が可能なフローティング乾燥炉を備えておりますので、高温での乾燥が必要な加工にも対応致します。



#### 焼付け印刷・コーティング

金属箔・耐熱フィルム等に焼付タイプの液剤を塗布し、高温にて乾燥を行う焼付け印刷・焼付けコーティング加工が可能です。液剤・インキの密着性が低い原反への密着強度を高めるなど、様々な用途に活用いただけます。



#### コロナ処理機

表面処理が必要な基材には、コロナ処理を施し、液剤塗工時密着強度が安定させることが出来ます。



#### バックアップロール

塗工ヘッド部、ラミネートロール部にバックアップロール装置を備えており、液剤塗工時に圧力をかけ、密着強度を高めることが出来ます。厚みのある基材や、表面の粗い基材を塗工する際に適した手法です。



#### 両面同時検査が可能な巻き取り検品機

フィルム・紙をはじめ、金属箔などの各種基材に対応し、両面同時検査（ $9\mu \sim 400\mu$ ）、耳スリット（ $12\mu \sim 400\mu$ ）などの特徴を持たせた検品機です。



# 設備一覧（本社工場）

## ● グラビア印刷機 —水性インキ対応 基材厚み 3.5μ～250μ—

|        | 6色機<br>2巻取装置 | 8色機<br>2巻取装置     | 7色機<br>2巻取装置   | 4色機          |
|--------|--------------|------------------|----------------|--------------|
| 最大基材幅  | 1300mm       | 1400mm           | 1400mm         |              |
| 最小繰出直径 | 130mm        | 200mm            | 250mm          |              |
| 最大繰出直径 | 800mm *1     | 800mm            | 1000mm         | 400mm        |
| 最大巻取直径 | 800mm *2     | 800mm            | 1000mm         |              |
| 最小版円周  | 370mm *3     | 420mm            | 400mm          |              |
| 最大版円周  | 実績 740mm *4  | 1000mm           | 1135mm         |              |
| 特徴     | 反転装置付        | 検査装置付<br>3色静電装置付 | 反転装置付<br>検査装置付 | 特殊液塗工<br>専用機 |

\*1：I-I は 600mm    \*2：I-I は 600mm    \*3：I-I は 400mm    \*4：800mm までは可能  
※全機種繰り出し、巻き取りのコアは 3インチ、6インチに対応



## ● コータードライ —水性塗剤対応 基材厚み 3.5μ～750μ—

| グラビア 2 ヘッド |                                                                  |
|------------|------------------------------------------------------------------|
| 最大基材幅      | 1450mm                                                           |
| 最小繰出直径     | 200mm                                                            |
| 最大繰出直径     | 800mm (自動継 200mm)                                                |
| 最大巻取直径     | 第1 繰出 800mm 第2 繰出 800mm                                          |
| 最小版円周      | 430mm                                                            |
| 最大版円周      | 900mm                                                            |
| 特徴         | 反転装置付 / 耳スリット加工 / ドライラミネート / セパレータ挿入<br>乾燥炉 15m / 乾燥温度最大 150℃×3m |

※繰り出し、巻き取りのコアは 3インチ、6インチに対応



## ● スリッター機 —基材厚み 12μ～250μ—

|         | S-1 号機 | S-2 号機                 |
|---------|--------|------------------------|
| 最大基材幅   | 1000mm | 1500mm                 |
| 最大繰出直径  | 400mm  | 800mm                  |
| 最大巻取直径  |        | 600mm                  |
| 最小スリット幅 |        | 80mm (フリクション幅 40mm)    |
| 特徴      | 特殊液専用  | 繰出タッチロール付<br>丸刃・レザー刃可能 |

※全機種繰り出し、巻き取りのコアは 3インチ、6インチに対応



## ● 巻取検品機 —基材厚み 4.5μ～750μ—

|        | M-4 号機                            | M-6 号機                   | M-7 号機                   |
|--------|-----------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 最大基材幅  | 1300mm                            | 1200mm                   | 1400mm                   |
| 最大繰出直径 | 800mm                             | 800mm                    | 800mm                    |
| 最大巻取直径 | 800mm                             | 800mm                    | 800mm                    |
| 特徴     |                                   | 検査装置付                    | 検査装置付<br>防塵装置 (吸引方式)     |
|        | M-8 号機                            | M-9 号機                   | M-1 号機                   |
| 最大基材幅  | 1500mm                            | 1500mm                   | 1200mm                   |
| 最大繰出直径 | 1000mm                            | 1000mm                   | 800mm(500kg)             |
| 最大巻取直径 | 1000mm                            | 1000mm                   | 800mm(500kg)             |
| 特徴     | 検査装置付・防塵装置付<br>(吸引方式・超音波ウェブクリーナー) | 検査装置付<br>防塵装置付<br>(粘着方式) | 2013 年 10 月新規導入<br>検査装置付 |

※全機種繰り出し、巻き取りのコアは 3インチ、6インチに対応



## ● 製袋機

|         | ST-1 号機                                                                   | ST-2 号機                                                                                                                                              |
|---------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         | 2 枚合せ専用<br>三方プレス高速自動製袋機                                                   | センタープレス製袋機                                                                                                                                           |
| 最大基材幅   | 700mm                                                                     | 820mm                                                                                                                                                |
| 最大巻直径   | 600mm                                                                     | 600mm                                                                                                                                                |
| 最小製袋幅   | 幅 230mm(75mm)/ 流れ 100mm                                                   | 幅 50mm/ 流れ 50mm                                                                                                                                      |
| 最大製袋幅   | 幅 700mm/ 流れ 500mm×N 回                                                     | 幅 400mm/ 流れ 500mm×N 回                                                                                                                                |
| シールバー種類 | 縦 (流れ方向) : 15mm×620mm, 20mm×620mm<br>横 (流れ垂直方向) : 7.5mm×720mm, 10mm×720mm | センターシール : 10mm×720mm, 15mm×720mm,<br>16mm(凹型 5,6,5mm)×720mm<br>センタープレート幅 : 87,88,98,128,148,198mm<br>ボトムシール幅 : 10mm×420mm, 15mm×420mm,<br>20mm×420mm |
| 特徴      | 1～4 面取り W75～700mm・L100～500mm<br>最小幅は機械上 75mm まで可能 (原反の材質による)              | ガゼット装置付 (プレートチェンジに依る幅決め方式)<br>ガゼット 20mm～100mm 折込最大 50mm                                                                                              |

※繰り出しのコアは 3インチに対応



# 設備一覧（奈良工場）

## ● コーティング・ドライラミネート・焼付加工

### N-1 号機

|              |                                         |
|--------------|-----------------------------------------|
| 基材の厚み        | 9 $\mu$ ~ 400 $\mu$                     |
| 基材の幅         | 200mm ~ 1350mm (条件により変更あり)              |
| 原紙巻き直径       | 最大 1000mm                               |
| 版円周          | 最大 785mm                                |
| ニアロール、タッチロール |                                         |
| 乾燥炉          | フローティング方式                               |
| 乾燥温度         | 300℃まで対応可能                              |
| 特徴           | 表面処理機付<br>バックアップロール付<br>コア（3インチ、6インチ可能） |



## ● コーティング・ドライラミネート

### N-2 号機

|              |                                                                      |
|--------------|----------------------------------------------------------------------|
| 基材の厚み        | 9 $\mu$ ~ 400 $\mu$                                                  |
| 基材の幅         | 200mm ~ 1350mm (条件により変更あり)                                           |
| 原紙巻き直径       | 最大 1000mm                                                            |
| 版円周          | 最大 785mm                                                             |
| ニアロール、タッチロール |                                                                      |
| 乾燥炉          | ロールサポート方式                                                            |
| 乾燥温度         | 150℃まで対応可能                                                           |
| 特徴           | 表面処理機付、バックアップロール付<br>コア（3インチ、6インチ可能）<br>2000 $\mu$ の発泡フィルムラミネート実績あり。 |



## ● 巻取検品機

### R-1 号機

|        |                                                                        |
|--------|------------------------------------------------------------------------|
| 基材の厚み  | 9 $\mu$ ~ 400 $\mu$                                                    |
| 基材の幅   | 200mm ~ 1350mm (条件により変更あり)                                             |
| 最大巻取直径 | 最大 1000mm                                                              |
| 特徴     | フィルム、紙、金属箔対応<br>両面同時検品が可能<br>耳スリット可能<br>防塵装置付（粘着方式）<br>コア（3インチ、6インチ可能） |





# 対応可能な基材一覧

●=加工実績あり    △=加工実績なし

| 基材名         | グラビア印刷 | コーティング | ドライラミネート |
|-------------|--------|--------|----------|
| PET         | ●      | ●      | ●        |
| PT（セロファン）   | ●      | ●      | ●        |
| 硬質塩ビ        | ●      | ●      | ●        |
| 軟質塩ビ        | ●      | ●      | △        |
| ポリ乳酸        | ●      | ●      | △        |
| アクリル        | ●      | ●      | ●        |
| ポリイミド       | ●      | ●      | △        |
| PEN         | ●      | ●      | △        |
| ABS         | △      | △      | ●        |
| NYL         | ●      | △      | ●        |
| LLDPE       | ●      | △      | ●        |
| OPS         | ●      | △      | △        |
| 金属箔         | ●      | ●      | △        |
| 不織布         | ●      | ●      | ●        |
| タイベック       | ●      | ●      | ●        |
| 紙           | ●      | ●      | ●        |
| グラシン        | ●      | ●      | ●        |
| OPP         | ●      | ●      | ●        |
| CPP         | ●      | ●      | ●        |
| エバール        | △      | ●      | △        |
| 各種ラミネートフィルム | ●      | ●      | ●        |

※加工実績がない基材につきましても、加工条件次第で対応可能ですので、お問い合わせください。

# アクセス（本社）

## アクセスマップ



## 連絡先

### 株式会社ニューロータリー

〒571-0012 大阪府門真市江端町 8 番 8 号  
TEL 072-881-3265 (代) 072-885-5521 (営業代表)  
FAX 072-884-3288  
E-MAIL [info@newrotary.co.jp](mailto:info@newrotary.co.jp)  
URL <https://www.newrotary.co.jp/>

※カーナビでは裏門から案内されることが多いですが、  
裏門からは入場出来ません。

**161 号線沿いの正門からご入場いただき、  
守衛室にて訪問者カードをお受け取りください。**

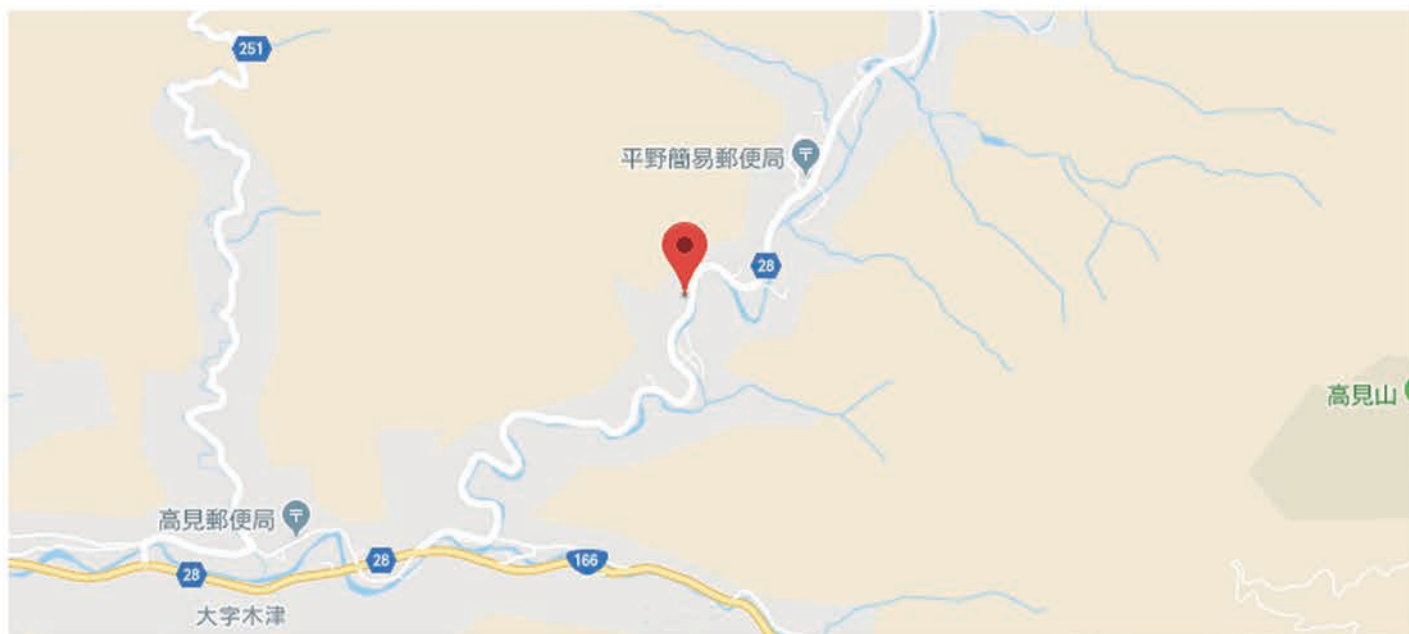
## 交通アクセス

- JR 学研都市線 「住道駅」下車後  
「JR 住道」より近鉄バスで「御領東」で下車  
または「住道駅」駅前よりタクシーにて約 10 分
- 地下鉄長堀鶴見緑地線 「門真南駅」下車  
駅前よりタクシーにて約 10 分
- 京阪電車「大和田駅」下車  
駅前より京阪バス【御領経由 2 番】で「御領」下車  
または「大和田駅」駅前よりタクシーにて約 20 分
- 京阪電車「萱島駅」下車  
駅前より近鉄バスで「御領東」で下車  
または「萱島駅」駅前よりタクシーにて約 20 分



# アクセス（奈良工場）

## アクセスマップ



## 連絡先

### 株式会社ニューロータリー奈良工場

〒633-2303 奈良県吉野郡東吉野村平野 1152-1

TEL 0746-44-0510

FAX 0746-44-0511

E-MAIL [info@newrotary.co.jp](mailto:info@newrotary.co.jp)

URL <https://www.newrotary.co.jp/>

## 交通アクセス

- 近鉄大阪線「榛原駅」下車 駅前よりタクシーにて約 40 分
- 名阪国道 針 IC より車で約 40 分
- 南阪奈道路 葛城 IC より車で約 60 分

※カーナビでは、369 号線方面から 28 号線を南下するルートを案内されることもありますが、細い山道です。  
166 号線方面からお越しいただくことをお勧めいたします。



弊社は、国際標準化機構（ISO）が規定する国際的な品質保証規格：ISO 9001 の認証を取得しました。  
弊社の品質保証体制が国際レベルであることが公的に認められました。

ISO9001 の遂行により、常に高品質な製品を提供し、高度な品質管理システムの構築で更なる顧客満足度の向上を目指してまいります。

住 所：〒571-0012 大阪府門真市江端町 8 番 8 号  
T E L：072-881-3265（代）  
072-885-5521（営業代表）

U R L： <https://www.newrotary.co.jp/>  
F A X：072-884-3288  
E-Mail： [info@newrotary.co.jp](mailto:info@newrotary.co.jp)